

国語

10問全ての設問において全国平均を上回り、平均正答率は96%（全国平均72.8%）でした。10問中3問は正答率が99%で、文章に表れているものの見方や考え方について自分の考えを持つ力、伝えたい事柄について根拠を明確にして書く力、語の一部を省いた表現について話や文章の中で適切な活用の仕方を理解する力において優れているという結果が出ました。当日試験を受けた生徒100名のうち全問正解者64名、1問間違い30名であり、基礎・基本が十分に身につけているといえます。毎日の授業を大切にすることや、漢字テストや読書の時間での取組の成果が現れています。

比較的正答率の低かった「封筒の書き方を理解して書く」という設問は、正答率87%（全国56.8%）でした。与えられた情報と言語についての知識・理解・技能を活用し、表現するという取組をより、充実させていきたいと思えます。

数学

16問全ての設問において全国平均を上回り、平均正答率は92%（全国平均59%）でした。基礎・基本が十分に身につけているといえます。全問正解者は23名、1問間違いは36名、2問間違いが31名でした。16問中12問が正答率90%を超え、3問が80%超えでしたが、ヒストグラムの特徴を基に資料を分析する問題で正答率56.6%（全国平均40.8%）とやや低い正答率でした。資料の整理についての基本事項を活用するにあたってその表現力が乏しいことが原因であるので、授業のあらゆる場面で言語活動をより充実させていく必要があると思えます。

英語「聞くこと」「書くこと」「読むこと」

21問すべての設問において全国平均を上回り、平均正答率は84%（全国平均56%）でした。27問中正答率100%の問題が2問、それを除いて95%以上の問題が7問でした。特に「聞くこと」における正答率は88%で、英語を聞き取る力は十分に身につけているといえます。比較的正答率の低かった問題は、「来日する留学生の音声メッセージを聞いて、部活動についてのアドバイスを書く」という問いで60%（全国平均7.6%）、「食糧問題について書かれた資料を読んで、その問題に対する自分の考えを書く」という問いで50%（全国平均10.9%）、そして最も正答率が低かったのが、「学校を表す2つのピクトグラム（案内用図記号）の案を比較して、どちらがよいか理由とともに意見を書く」という問いで、23%（全国平均1.8%）でした。いずれの問題においても、思考力、判断力、表現力が問われるものであり、覚えた英語を用いて自分の考え、提案、意見などを適切に表現する力が必要とされます。今後は英語を言語として覚えさせるだけでなく、活用する場面を多く与えることで、生徒の表現力をさらに磨いていきたいと思えます。

英語「話すこと」

今年度初めて「話すこと」調査が行われましたが、平均正答率は59%（全国平均30.8%）と全国平均は上回っているものの、今後も努力を要する結果となりました。生徒にとっても初めての試みとなり、緊張と戸惑いから本来の力を出せなかった者もいたように思えます。特に正答率が低かったのは、「バスで登校する少年の絵を見て、交通手段を答える」という問題で11%（全国平均25.7%）と全国平均を下回る結果でした。おそらく返答する際に、文ではなく単語で答えてしまった生徒が多かったのではないかと予想されます。今後は、英語の質問に、単語ではなく文章で正しく答えることができるよう、インタビューテストなどを適切に取り入れる予定です。一方で、「海外のテレビ局の要望に応じて、自分の将来の夢、またはやってみたいこと等を話す」という問いでは、92%（全国平均45.8%）と正答率が高く、英語スピーチなどでの学習成果が表れています。

生徒質問紙

質問紙調査の結果から、家庭での学習時間の確保に課題があることがうかがえました。「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、一日どれくらいの時間、勉強をしますか」という質問に対し、「3時間以上」の生徒は3.0%（全国9.9%）と少数で、最も多かったのが「1時間以上、2時間より少ない」という生徒で44.0%（全国34.3%）でした。遠方から通学している生徒もあり、なかなか家庭での学習時間を十分に確保できない現状もあると思いますが、隙間時間を上手に使って短時間でも効率よく予習・復習ができると良いでしょう。また読書においては、読書時間が「1日10以上、30分より少ない」という生徒が最も多い一方で、「読書が好き」と答えた生徒は92.0%もいるという結果から、「読みたいけれど、時間がない」という本校生徒の日々の忙しさがうかがえます。少ない時間をどう使うか、一日の過ごし方を計画的に考える必要があります。

また、国語、数学、英語いずれの教科においても、「好きである」「大切である」と答えた生徒が8割以上おり、学習意欲が高いことがうかがえます。特に「英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と答えた生徒は100%で、将来を見据えて自ら意欲を持って学習に取り組んでいることが表れています。高校につなげていくためには、日々の学習時間の確保に重点を置き、計画的に物事を進めていく必要があるでしょう。